

**エアバッグのリコール届出が行われました!!
対象エアバッグの取外回収をお願いします**

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。
さて、今般2018年3月29日付にて以下メーカーの一部車両において、リコール届出が行われました。

つきましては、以下「2.確認手順」に従い、対象車台のリコール対策済みであるかご確認頂き、対策未実施の車台は取外回収をお願いいたします。

なお、本件届出の日産自動車株式会社「4236」は、届出番号「3139」、「3381」、「3492」、「3502」、「3569」、「3601」、「3674」において、改善措置に使用した部品が本届出の内容に該当する部品であるため、再度リコール届出をすることとなりました。

1.対象車両

メーカー名	対象車両	部 位	対策済 ステッカー番号
日産自動車 株式会社	平成 12 年 9 月 26 日～平成 21 年 1 月 8 日生産の エクストレイル、ティアナ、フーガ、フレアージュ、フルーバードシルフィ リバティ、キャラバン、キューブ、セフィーロ、サファリ、ダットサン の一部車両	助手席	4236
いすゞ自動車 株式会社	平成 13 年 6 月 7 日～平成 20 年 12 月 18 日生産の コモの一部車両		

リコールの詳細内容、対象車台の範囲については、以下の HP にてご確認ください。

< 国 土 交 通 省 HP > <http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall.html> (H30/3/29)

< ニ ッ サ ン HP > <http://www.nissan.co.jp/RECALL/RECALLLIST/> (H30/3/29)

< い す ゞ HP > http://www.isuzu.co.jp/recall/tb_2018.html (H30/3/29)

< 自 再 協 HP > <http://www.jarp.org/> (H30/4/2)

※詳細は各社ホームページをご確認ください。

2.確認手順

【確認①②③】

対象車両の確認
「解体工程 1.1 使用済
自動車/解体自動車の
引取報告」/「車台詳
細情報」画面

オレンジ以外

【作動①②③】
通常通り作業
(車上作動処理可)

ステッカー
【確認④】 有り

対策済ステッカー番号の確認
4236

ステッカー無し

【作業①②】

<<該当部位>>
エアバッグ
取外回収

自動車再資源化協力機構 (自再協)
TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

<確認方法・移動報告画面>

【確認①】対象車両の確認

◆1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告(解体工程)

引取報告日	引取元事業者/事業者名	車台番号	型式	車名	参考 加/減 装備	エアバッグ類 ※ 熱性対応済車 自社 処理	対策済 処理	引取報告 対象車種
2018/11/25	〇〇〇自動車株式会社	12345678901	A0000001	普通乗用車	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	〇〇〇自動車株式会社	12345678901	A0000001	一時停止乗用車	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	〇〇〇自動車株式会社	12345678901	A0000001	普通乗用車	有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」にて、背景色が「オレンジ」で表示されている車台が、リコール対象エアバッグ類装備車両となります。

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

【確認②】対象部位の確認

◆車台詳細情報画面(解体工程)

1) リコール対象部位は背景色が「オレンジ」で表示されます

部品名	数量	リコール
エンジン	1	<input type="checkbox"/>
トランスミッション	1	<input type="checkbox"/>
エアバッグ	1	<input checked="" type="checkbox"/>
ブレーキ	1	<input type="checkbox"/>
サスペンション	1	<input type="checkbox"/>

オレンジ表示されている車台の「詳細」から車台詳細情報を開き、リコール対象部位・対策済ステッカー番号をご確認ください。

2) リコールについての「メーカーからのお知らせ」に対策済ステッカー番号が表示されます。

【確認③】処理方法の選択の確認

◆1.10 処理方法選択画面(解体工程)

引取報告日	車台番号	型式	取外	作動
2018/11/25	12345678901	A0000001	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2018/11/25	12345678901	A0000001	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	12345678901	A0000001	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	12345678901	A0000001	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2018/11/25	12345678901	A0000001	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

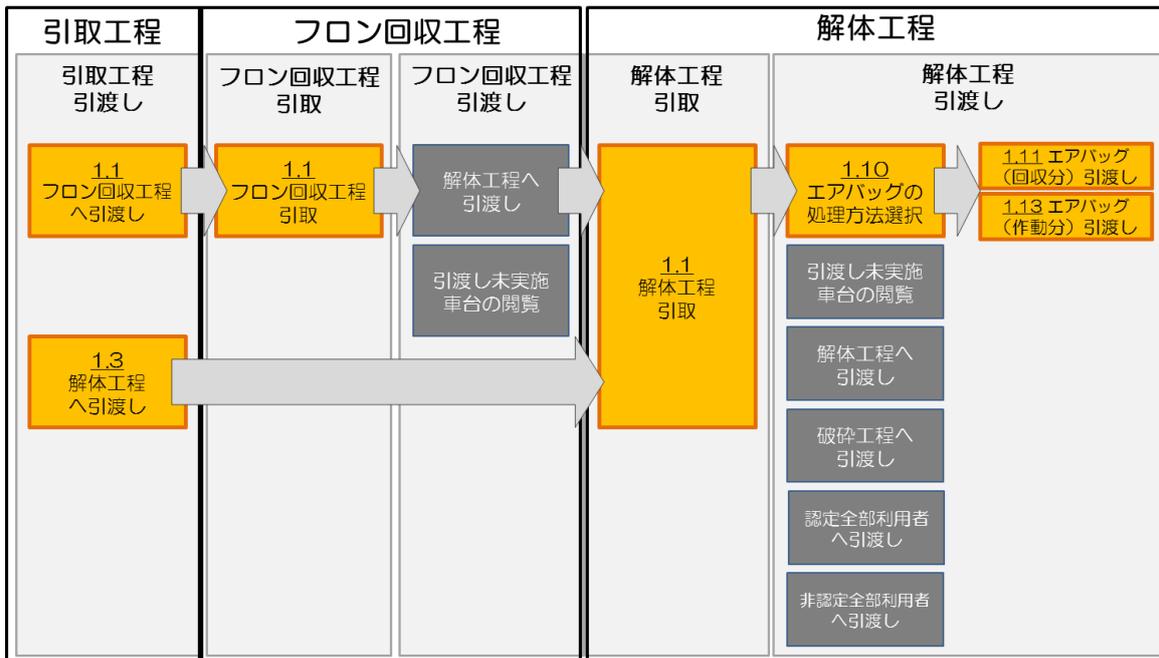
【車上作動契約がある場合】リコール対象部位を取外・それ以外の部位を作動している場合、「取外」「作動」の両方にチェックをして処理選択してください

間違いなく処理選択されているか必ずご確認ください。

なお、「1.11 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」「1.13 エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告」でもオレンジ表示が確認できます。

【参考1】オレンジ表示確認画面範囲

解体業者の方で、引取業とフロン類回収業を兼任されている事業所は、引取工程の引渡報告画面、フロン類回収工程の引取報告画面においても、リコール対象車台のオレンジ表記がされるようになっていきます。

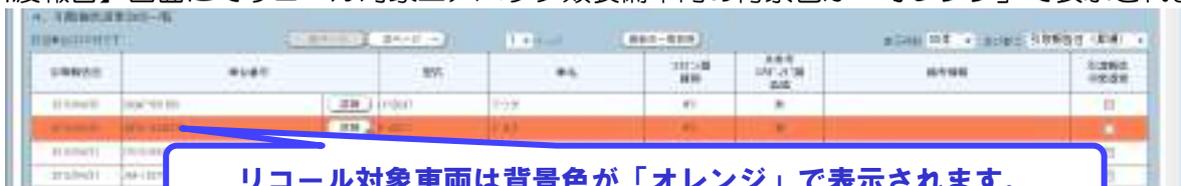


自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面をご確認ください。また特別費用支払対象車両は、解体工程でオレンジ表示されているリコール対象車台となります。

【参考2】引取工程・フロン類回収工程での確認

◆引取工程の使用済自動車の引渡報告画面(解体業者兼任限定)

引取工程【1.1 フロン類回収業者への使用済自動車の引渡報告】【1.3 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。



※自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。

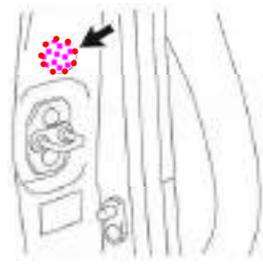
◆フロン類回収工程(解体業者兼任限定)

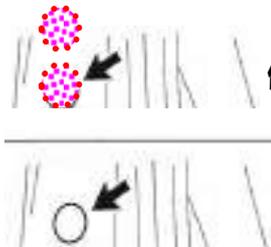
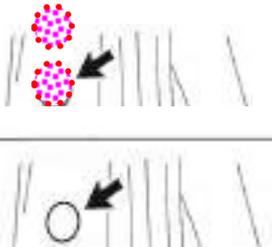
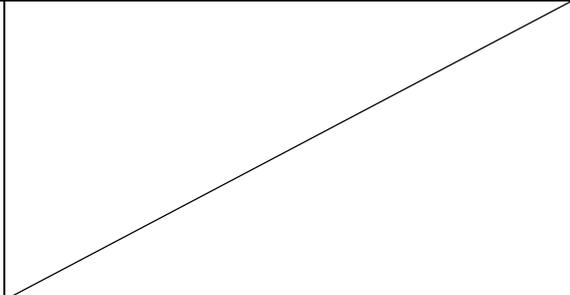
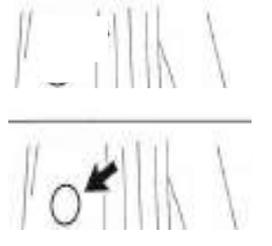
フロン類回収工程【1.1 使用済自動車の引取報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。



【確認④】対策済ステッカー有無、ステッカー番号の確認

手順①の対象車台については、以下の内容にて確認いただき、リコール未対策の場合には、必ず取外回収を行い、作業①②に従って指定引取場所に引き渡してください。

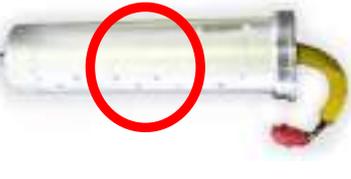
対策済ステッカー（例）	貼付場所
<p>必ずステッカー番号を確認してください。</p> 	<p>運転席ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼付されています。</p> 

リコール対策済み		リコール未対策	
複数枚	<p>該当する全てのステッカーを貼付</p>  <p>例① 「3456」ステッカーが貼付されている</p>	<p>該当する全てのステッカー貼付</p>  <p>例④ 「3456」ステッカーが貼付されていない</p>	
1枚	<p>最新ステッカーを貼付</p>  <p>例② 「3456」ステッカーが貼付されている</p>  <p>例③ 「3456」以上(例: 3457)ステッカーが貼付されている</p>	<p>最新ステッカーを貼付</p>  <p>例⑤ 「3456」以前(例: 3455)ステッカーが貼付されている</p> 	
なし		 <p>例⑥ ステッカーが貼付されていない</p>	

(注) 車両によってリコール対策済ステッカーの貼付方法が異なりますのでご注意ください。

【作業①】リコール対象エアバッグの取外回収、分解

リコール対象のエアバッグを車両から取り外しインフレーターの状態まで分解したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

	正しい性状	誤った性状	
	<ul style="list-style-type: none"> インフレーター状態まで分解 ハーネスを5cmほど残して切断した上で、先端の被覆をむき撚り合わせてショート 	分解不十分 (付属品がついている)	短絡不良 (ハーネスを撚り合わせてショートしていない)
運転席			
助手席			

【作業②】梱包

取外し後のインフレーターは以下の要領で指定引取場所に引き渡してください。

通常通り、回収袋に収納し、「全桁の車台番号(※)」を書いた荷札を付けてください。

その際、荷札の車台番号を赤マジックで囲んでください。

(※) 指定引取場所等での車両特定の為、車台番号の全桁記入をお願いします。



誤作動防止の為、ハーネスは必ずショートさせてください。

万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

補足

-- 車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします --

作動 1. リコール対象外のエアバッグ類を車上作動処理し、実績を記録してください。

- ☞ リコール対象のエアバッグを取外した後でも一括作動処理が可能です。
- ☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。

《安全作業の一例》

① ドアを開け、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止

② 通電時の距離(5m以上)を確保するとともに遮蔽物を設置。作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。

③ 通電時のヘルメット着用

④ 通電時の周囲への声かけ。車台の周囲に人がいないことを確認してください。



※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください

- ☞ また、車上作動処理実施の際、インフレーター等が破断し部品が車外に飛散する事象が稀に発生している為、従来の安全作業に加え、以下の対策実施を推奨します。

Ⓐ ハンドル位置を下げ、運転席のヘッドレストを最下部まで下げ、シートを前方に引き出すとともに前に倒す。

ハンドルの向きを下げ、シートを前に倒す事で、運転席側のインフレーター等の車外への飛散を抑えることを期待。



Ⓑ フロントガラスに毛布を置き、その上にカバーをか

ける
毛布をかけた上に更にカバーをか

ける事で、飛散防止効果を期待。



Ⓒ ボンネットを開ける

ボンネットを開けた状態で通電することで、インフレーター等の車外前方への飛散を防ぐことを期待。(ポップアップボンネット付車台を除く)



- ☞ 車上作動処理実施後、速やかに処理結果を管理台帳に記入してください。
(備考欄に「リコール対象部位(例：助手席)は取外回収」と記入)

エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳		2010年10月度 1頁		解体業者名:〇〇解体△△工場					
① 事務所管理欄(1)		② 作業場管理欄		③ 事務所管理欄(2)					
No.	車台番号	車名	作動処理実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車引渡先	解体自動車 引渡日	備考
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3				助手席(リコール)は取外回収
2									
3									
4									

作動処理した個数を記入

例：助手席を取外回収した旨を記入

作動 2. 自動車リサイクルシステムへの入力

- ☞ 「一部取外回収・一部車上作動処理」で引渡報告します。

①〔解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択〕

②〔解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告〕 回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。

1.8	手渡報告	※認定全量利用者への解体自動車引渡報告
1.9	引渡先確定済車台の一覧	※非認定全量利用者：メーカー
1.10	エアバッグ類処理方法の選択	エアバッグ類処理方法の選択
1.11	手渡報告	
1.12	引渡先確定済車台の一覧	エアバッグ類(取外回収)の引渡報告
1.13	手渡報告	エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告

「回収」と「作動」
の両方にチェック
します。

回収	作動
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、
「車上作動処理」での引渡報告は必要ありません。

作動 3. 管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

- ☞ 引渡報告が完了したら、管理台帳の
「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。

エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳		2010年10月度 1頁		解体業者名:〇〇解体△△工場					
① 事務所管理欄(1)		② 作業場管理欄		③ 事務所管理欄(2)					
No.	車台番号	車名	作動処理 実施日	車上作動方式 個別 一括	処理個数	確認者	エアバッグ類 移動報告引渡日	解体自動車 引渡日	備考
1	AA1234567890	AAAAAA	10/1	○	3	環境太郎	11/1	10/3	助手席(リコール)は取外回収
2			/					/	
3			/					/	
4			/					/	

取外回収で引渡報告
した日を記入

参考

日産自動車株式会社 助手席エアバッグ リコール対象車両一覧

エクストレイル

ティアナ

フーガ

プレサージュ



ブルーバードシルフィ

リパティ

キャラバン

キューブ



セフィーロ

サファリ

ダットサン

コモ(いすゞ)



表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面のオレンジ表示および車台の「対策済ステッカー:4236」の有無をご確認ください。

助手席

※国土交通省HPリコール届出より引用

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車 の台数	備考
ニッサン	TA-NT30 UA-NT30 CBA-NT30	「エクストレイル」	NT30-006733～NT30-309800 平成12年12月13日～平成19年6月28日	60,651	助手席エアバッグ 装備車
	TA-T30 UA-T30 CBA-T30		T30-001206～T30-201371 平成12年12月28日～平成19年6月28日	5,975	
	GH-PNT30		PNT30-000101～PNT30-200363 平成13年1月18日～平成19年6月27日	2,510	
	UA-J31 CBA-J31	「ティアナ」	J31-000044～J31-506490 平成15年1月15日～平成20年11月27日	37,887	
	UA-TNJ31 CBA-TNJ31		TNJ31-000030～TNJ31-500997 平成14年12月26日～平成20年11月26日	3,890	
	UA-PJ31 CBA-PJ31		PJ31-000038～PJ31-500316 平成15年1月15日～平成20年4月18日	1,717	
	CBA-PY50 DBA-PY50	「フーガ」	PY50-200108～PY50-303987 平成16年10月1日～平成20年12月26日	18,347	
	CBA-PNY50 DBA-PNY50		PNY50-300028～PNY50-400641 平成16年10月5日～平成20年12月25日	3,357	
	CBA-Y50 DBA-Y50		Y50-100032～Y50-203401 平成16年10月1日～平成20年12月26日	15,560	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車 の台数	備考
ニッサン	CBA-GY50	「フーガ」	GY50-400015～GY50-500713 平成17年7月20日～平成20年12月23日	1,926	助手席 エアバ ッグ装 備車
	UA-TU31 CBA-TU31 DBA-TU31	「プレサージュ ユ」	TU31-000107～TU31-306062 平成15年7月2日～平成20年12月25日	28,998	
	UA-TNU31 CBA-TNU31 DBA-TNU31		TNU31-000107～TNU31-201326 平成15年7月2日～平成20年12月24日	7,603	
	UA-PU31 CBA-PU31		PU31-000113～PU31-200554 平成15年7月3日～平成20年12月25日	1,409	
	UA-PNU31 CBA-PNU31		PNU31-000111～PNU31-050497 平成15年7月3日～平成18年4月17日	461	
	UA-QG10 DBA-QG10		「ブルーバー ドシルフィ」	QG10-022188～QG10-503999 平成13年5月23日～平成17年12月23日	
	TA-QNG10		QNG10-002345～QNG10-109894 平成13年5月23日～平成17年12月23日	2,649	
	TA-FG10 UA-FG10 CBA-FG10		FG10-010307～FG10-502777 平成13年5月23日～平成17年12月23日	9,408	
	GH-TG10		TG10-004360～TG10-110105 平成13年5月23日～平成17年12月15日	2,557	
	TA-RM12 UA-RM12 CBA-RM12	「リバティ」	RM12-000007～RM12-139997 平成13年4月11日～平成16年10月14日	19,709	
	TA-RNM12 UA-RNM12		RNM12-000003～RNM12-105393 平成13年4月16日～平成16年10月13日	3,135	
	TA-QGE25	「キャラバ ン」	QGE25-000023～QGE25-047423 平成13年11月26日～平成19年6月28日	5,884	
	TA-QE25		QE25-000023～QE25-031000 平成15年5月19日～平成19年6月28日	2,218	
	CBA-SGE25		SGE25-000005～SGE25-025001 平成19年8月7日～平成21年1月8日	1,008	
	CBA-SE25		SE25-000003～SE25-000632 平成19年8月7日～平成20年12月17日	387	
	GE-DQGE25 LC-DQGE25		DQGE25-000013～DQGE25-046818 平成13年5月8日～平成19年7月19日	1,680	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の 台数	備考	
ニッサン	GE-CQGE25 LC-CQGE25	「キャラバン」	CQGE25-000156～CQGE25-051977 平成13年6月7日～平成19年8月3日	1,166	助手席 エアバ ッグ装 備車	
	KG-CWMGE25 KR-CWMGE25 ADF-CWMGE25		CWMGE25-000045～CWMGE25-090810 平成13年5月25日～平成20年12月22日	814		
	KG-CWGE25 KR-CWGE25 ADF-CWGE25		CWGE25-000060～CWGE25-111211 平成13年5月17日～平成20年12月17日	459		
	CBF-CSGE25		CSGE25-000026～CSGE25-001339 平成19年9月4日～平成20年12月17日	165		
	KG-VWME25 KR-VWME25 ADF-VWME25		VWME25-000108～VWME25-156002 平成13年5月17日～平成20年12月25日	1,465		
	KG-VWE25 KR-VWE25 ADF-VWE25		VWE25-000294～VWE25-210003 平成13年5月12日～平成20年12月24日	1,102		
	KG-DWMGE25 KR-DWMGE25 ADF-DWMGE25		DWMGE25-000040～DWMGE25-080734 平成13年5月23日～平成21年1月8日	1,409		
	KG-DWGE25 KR-DWGE25 ADF-DWGE25		DWGE25-000028～DWGE25-080197 平成13年6月7日～平成20年12月9日	613		
	CBF-DSGE25		DSGE25-000002～DSGE25-001667 平成19年8月8日～平成20年12月25日	653		
	GE-VPE25 LC-VPE25		VPE25-000090～VPE25-118711 平成13年5月12日～平成19年7月27日	1,225		
	CBF-VRE25		VRE25-000009～VRE25-027005 平成19年8月28日～平成20年12月24日	268		
	TA-AZ10		「キューブ」	AZ10-191744～AZ10-324551 平成12年9月26日～平成14年8月20日		17,730
	TA-ANZ10			ANZ10-027768～ANZ10-041159 平成12年12月29日～平成14年7月31日		2,397
GF-A33 GH-A33	「セフィー ロ」	A33-070007～A33-093533 平成13年1月12日～平成14年12月20日	4,236			
GF-PA33		PA33-560016～PA33-564072 平成13年1月12日～平成14年8月20日	932			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車 の台数	備考
ニッサン	TA-WFGY61	「サファリ」	WFGY61-000023～WFGY61-003659 平成14年10月23日～平成19年6月28日	606	助手席 エアバ ッグ装 備車
	GF-WGY61		WGY61-803708～WGY61-803809 平成14年1月21日～平成14年8月27日	25	
	KH-WTY61		WTY61-000479～WTY61-000538 平成14年1月22日～平成14年8月28日	24	
	KG-VRGY61		VRGY61-000966～VRGY61-001054 平成14年1月9日～平成14年8月27日	38	
	GC-LFMD22	「ダットサ ン」	FMD22-010792～FMD22-505378 平成13年7月6日～平成14年8月23日	41	
	GC-LFD22		LFD22-000300～LFD22-500731 平成13年8月1日～平成14年8月26日	28	
	KG-LRMD22		RMD22-011721～RMD22-505152 平成13年7月5日～平成14年7月9日	17	
	GC-PD22		PD22-001473～PD22-001899 平成13年9月4日～平成14年7月1日	10	
	GE-LPD22		LPD22-000459～LPD22-000464 平成14年5月7日～平成14年5月27日	2	
	いすゞ	TA-JQGE25	「コモ」	QGE25-800001～QGE25-805031 平成13年12月12日～平成19年4月5日	
TA-JQE25		QE25-800001～QE25-804014 平成15年5月21日～平成19年5月16日		34	
CBA-JSGE25		SGE25-820000～SGE25-820022 平成19年8月28日～平成20年12月18日		18	
CBA-JSE25		SE25-820000～SE25-820005 平成19年11月21日～平成20年9月4日		5	
KG-JVWME25 KR-JVWME25 ADF-JVWME25		VWME25-800056～VWME25-820203 平成13年6月7日～平成20年10月3日		48	
KG-JVWE25 KR-JVWE25 ADF-JVWE25		VWE25-800265～VWE25-820713 平成13年7月21日～平成20年11月18日		42	
GE-JVPE25 LC-JVPE25		VPE25-800032～VPE25-807143 平成13年7月16日～平成18年11月29日		15	
KG-JCWMGE25 KR-JCWMGE25 ADF-JCWMGE25		CWMGE25-800009～CWMGE25-820031 平成13年7月9日～平成20年7月29日		31	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の 台数	備考
いすゞ	KG-JCWGE25 KR-JCWGE25 ADF-JCWGE25	「コモ」	CWGE25-800032～CWGE25-820037 平成13年8月21日～平成20年2月5日	13	助手席 エアバ ッグ装 備車
	GE-JCQGE25 LC-JCQGE25		CQGE25-800010～CQGE25-805012 平成13年8月1日～平成18年6月14日	16	
	CBF-JCSGE25		CSGE25-820002 平成20年6月6日	1	
	KG-JDWMGE25 KR-JDWMGE25		DWMGE25-800003～DWMGE25-805012 平成13年7月3日～平成19年6月6日	18	
	KG-JDWGE25 KR-JDWGE25 ADF-JDWGE25		DWGE25-800010～DWGE25-820004 平成14年4月2日～平成20年11月5日	5	
	GE-JDQGE25 LC-JDQGE25		DQGE25-800003～DQGE25-805002 平成13年8月2日～平成18年7月4日	18	
	CBF-JDSGE25		DSGE25-820000 平成19年9月13日	1	
(計 116 型式)	(計 12 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成12年9月26日～平成21年1月8日	(計 297,783 台)		

(備考)

本届出の対象車は、届出番号「3139」、「3381」、「3492」、「3502」、「3569」、「3601」、「3674」において、改善措置に使用した部品が本届出の内容に該当する部品であるため、再度リコール届出をするものである。

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。